



《茅ヶ崎小学校版HUGとは？》

防災

私たち茅ヶ崎南地区の避難所である茅ヶ崎小学校の現実に近づけたHUGで、とりわけ次のような工夫がなされています。

- 避難者を収容する体育館や教室の配置・構造が現実に合わせてあります。
- 茅ヶ崎小学校に備えられている災害用備蓄品も実際のものに近くしてあります。
- 現実の避難所運営ルールに基づいてゲームを進めます。ただし絶対ではありません。
- 避難所の開設と初期の運営で主導的役割を果たす配備職員や、それに協力する防災リーダーを、重要なアクターとしてHUGカードに加えました。
- そのほか、地域や自主防災組織の名称を実際のものに変更したり、災害発生時の状況などを地域の特性に合わせて実際にありそうなものにしました。

このようにすることによって、HUGはより現実に近い疑似体験となり、ゲーム参加者はより良く万一の場合に備えることができるでしょう。

